

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和4年度) 2022年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	8	24	水	13:00	15:00		
活動名称	今後の里山サポートクラブの取組について意見交換会					報告者：小澤ク	

<活動目的>

今後の里山サポートクラブの取組について意見交換

<主な意見内容>

① 里山サポートクラブの特徴について

20年も継続していること

ボランティアとしての意識が高い人が多い。

活動を楽しみにしている人が多い。

② 里山サポートクラブの活動について

参加する事でストレス解消になる

参加が自由なことが良い

会員のコミュニケーションが比較的円滑である

お互いに意見を調整し、強引な主張がないことが良い。

会員の自主的な取組による活動が多い。

会員の皆さんが、元気な方が多い。

③ 活動日数について

◇ 年間50日に近く、これ以上活動日を増やす事は限界ではないか。

◇ 月3回くらいを最大に出来ないか、

◇ 太田ヶ谷の森が出来て、活動回数が増加している。

◇ 太田ヶ谷の森は、地元の方々の地元意識が強く、市内全体を対象としている里山クラブとは、少し違う意識がある。

◇ 地元の皆さんの意向を尊重して、里山クラブとしては、地域の皆さんの活動をサポートするという位置づけで取り組んでいきたい。

④ 今後の展開について

◇ 65才以上の会員募集が必要ではないか

◇ 健康、生きがいづくりとして、ボランティア活動をPR

◇ 市民の森での音楽会など、他団体の活動を市民の森で実施する事が出来ないか

◇ 森の活動は、健康に良い、元気になる事をPRすべき

◇ 市民の森を巡るウォーキングの会などを、自治会等と開催する。

◇ 市民の森でキャンプやバーベキューなどが出来ると良いのでは

◇ 市民の森を各種団体の活動の場として利用してもらう

◇ 市の職員の方々に里山活動を宣伝し、定年後の職員に参加を促す方策

◇ 法人への展開など 地域との連携の必要性

◇ 市民の森の所有者への配慮 (通信などを送付するなど)

◇ 里山サポートクラブの活動の情報発信の強化

◇ 既往の森の整備作業に市民参加を組み入れて行く事が必要ではないか

<里山参加会員> 牛島、橋本、小沼、小嶋、松下、小澤ク

以上

森とのコラボについて健康長寿課に提案（私見、牛島）

（追記 牛島）

長寿課に対し、里山サポートは健康長寿に貢献していることをアピールする。

9月広報つるがしまの中のイベントなどに対し、市民の森の中で開催できるように相談したい。来年度の計画に組み込んでみたいので、検討してほしい。

- 1, 定期健康ウォーク（ウォーキングスポットに市民の森を提案）森巡回ウォーク
- 2, ストレッチ教室（屋外）
- 3, フレイルチェック測定会
- 4, 秋のヨガ教室（自律神経を整える）
- 5, 初心者太極拳教室（森の中で実演）
- 6, 写楽会（写真の撮り方講演）
- 7, 野外コンサート（生演奏）
- 8, 音楽鑑賞会（BGMにリラクゼーション音楽）
- 9, その他

#### 里山サポートの狙い

- 1, まず、高齢者に森の良さを感じてもらおう。（緑、静けさ、癒し、健康、脱炭素など）
- 2, この大切な森を持続的に残す使命を高齢者にも持ってもらおう。（SDGs）
- 3, 次世代に対する思いやりがボランティア活動に繋がる。（心に余裕ができる）
- 4, 里山サポートなどの団体に入会して活動するきっかけを作る。（活動の活発化）
- 5, 定年後の高齢者に健康長寿と生きがいをみつけてもらおう。（健康長寿年齢を引き上げる）

#### 里山Sの対応

- 1, 里山Sは場所の設定と発電機のみ、会場設営は各団体か貴課が担当できないか。
- 2, イベントの開催を広報や、市のHPに掲載しアピールする。（里山のHPにも）

以上